



北広島町 掛頭山の日の出 車角 裕規さん



シャープ社友会
広島支部会報
ひびき第41号

主要記事

2007年 新春年賀会のお知らせ

日時 : 2007年1月23日(火) 11:00~14:00
会場 : シャープ(株) 通信システム事業本部 センタービル2階 多目的ホール
今回、会社のご支援により社友会本部の新春年賀会が、各支部の会場へ同時放映される運びとなりました。

式次第 :

第1部 : 11:00~11:30 社友会本部 蛇草会長 ご挨拶
シャープ(株) 町田社長 方針ご説明
11:30~11:45 支部独自・ストレッチ体操

第2部 : 11:50~12:10 会社役員のご紹介
シャープ(株) 辻 相談役 ご挨拶、
乾杯

第3部 : 12:10~14:00 広島支部・新春年賀会 (社友会・紅葉会合同)
年頭のご挨拶 広島支部 吉久 支部長
祝辞 通信システム事業本部
年賀行事および昼食会・記念撮影など

今年の年賀会場は例年と変わっておりますので、ご注意願います。
参加を申込まれた方は、会場へ10時50分までにお集まり下さい。
(申込みは締切り済です)

1面
2面
3面
4/8面

賀詞、新春年賀会お知らせ
春夏秋冬
会社幹部との懇談会
丸山 紀夫さん 絵手紙奨励賞受賞
HOWDOYOU DO

8/9面
10面
11面
12面

秋の親睦旅行
地区委員報告 広島・山陰・岡山
役員会だより
今井省吾さん 優秀賞受賞
社友短信・新会員の紹介



『目標を持ってやろう』

広島支部長 吉久 清春

社友会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

輝かしい希望に満ちた新年をご家族と共に迎えられる事とお慶び申し上げます。

平素は社友会広島支部の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は小泉内閣から安倍内閣に移り、郵政造反組一部の人が復党し、次回の選挙では党内の混乱が生じそうな政局でスタートしました。

社会情勢は多くの談合事件、殺人、自殺等の暗いニュースで年を越しました。しかし明るいニュースもありました。秋篠宮妃紀子様に世継ぎの悠仁(ひさひと)様の誕生でした。

社友会広島支部も12月末で二三五名の会員を抱える大世帯の支部となり、各諸先輩と共に築いてきた同好会も11グループを数え活発な活動がされています。

また、IT時代に沿ってホームページも充実してきました。予定表、同好会の活動内容等も見てください。運営担当をしていただいている各同好会幹事様には感謝申し上げます。

昨年は地区委員の動きも活発になってきました。メンバーが増えるに従い横の連携が取れると期待しています。特に事業部の方は退職時に入会届が渡されていますが、地方勤務のサービス、営業の方達への入会勧誘が滞っています。キメ細

かく行なっていきたいと思えます。一年の計は元旦に在りと言う諺があります。

今年は何の児童の教育、健康管理の目標をふたつ提案します。

I 昨年は親子関係で凶悪な犯罪が多く報道されました。なぜこのような世相になったのでしょうか？

それは子供の育て方に問題があったのではないのでしょうか？「子供は親を見て育つ」「子供は親が育てたように育つ」といいます。

子供が育つ過程で、不自由を知らない(何でも要求すれば手に入る)、物が有り余る、個室が当たり前、食事も別々、家族の会話もなく、個室でゲームに熱中する。他人の身をつねると痛いと言うことも、生と死がどんなものかと言うことも知りません。

ゲーム感覚で、死んだ人間はボタンひとつで生き返らせると錯覚に陥った人間になつていっているように思います。外で遊ぶ方法を教えなかった我々がこの様な世の中を作ったのではないのでしょうか？

我々世代は戦中、戦後を通じて多くの経験をしました。その中には疎開の生活、戦後の混乱、倍増時代、共稼ぎ、そして次第にものが豊かになり、時と共に幸せだと思える世の中に成つていきました。

しかし、その中に大きな歪みがあったのだと思います。今の若い親達(全てとは言いませんが)は豊かな時代に育つた苦勞の知らない若者です。今一度「孫

を正しく育てよう」を考えてみませんか。また、現在は自己中心的になっていて自分さえ良ければいいという気持ちの強い人が多いように思われます。何にも関与しないで生活する人生は老化を早めます。これからの日本を安心できる国に変えるには、何でも知つていられるお祖父さん、お祖母さんが立ち上がり孫の教育、躾をするべきだと思えます。お父さん、お母さんに感謝する事を教え、家庭ではまずあいさつすることが一番大切です。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さんは互いに感謝の言葉「ありがとう」が言えますか。「ありがとう』『おはよう』『おやすみなさい』『いただきます』の言葉から始めて下さい。家族がまとまります。

これからのボケ防止の為に、かわいい孫達と、孫が近くにいない人は地域の子供たちと会話を通じて、昔の苦勞話や歴史の話、作法、言葉使い、おがまも叱つて直す勇氣を持つて教えて下さい。



II 皆様は日々、健康管理を第一に生活されていることと思います。昨年シャープメンバーの平均寿命(68・7歳)の報告をしました。

しかし、日本人の平均寿命は80歳以上ですから達成出来ていません。これに向かつて人生行路を作っていきます。ある健康医の話ですが、人間の天命は一〇〇から一二〇歳と言われている。それではなぜそれまで生きられないのか？後天命(定命)と言うのがあつてその人の生まれた日の運勢プラス現在の

生活態度で決まる運命を持っています。運勢は暦で決まり、運命は自分で決めています。天命と後天命はどちらが長寿命か判らないそうです。

一昨年、同じ病室でガンと戦いながら不幸にも先立たれた故人と、ガンを克服して、昨年の秋の旅行に参加され、劇を演じる程に元気になられた人がおられます。

まさにその人を見る限り人生は天命で生かされている様に思えます。ただ寿命が延びても不健康では困りません。健康寿命で長生きし、元気なときはピンピン、後はコロリと行きたいものです。其の為には次の7つを意識して実行して下さい。

- 1 食生活は魚と野菜の生活に、特に海藻類(ワカメ、ヒジキ、寒天)が良い。
- 2 水分を良く取ること。特に日本茶、ウーロン茶が良い。
- 3 規則正しい運動をする。一日20分、30分の歩行と10分程度の自分にあつたゆっくりとした体操。
- 4 たばこは寿命を縮めます。苦しみながら死ぬことになる。
- 5 ストレスを溜めない。イライラ、カッカすることを言わない、しない。
- 6 自立心を持つこと。極力自分の事は自分でする。ボケ防止になる。
- 7 がんばり過ぎない事。多忙が良いが負担になることは避けること。

以上を守つて生活すれば健康寿命が長くなります。皆さん実行してシャープメンバーの寿命を長くしようではありませんか。今年も社友会の同好会活動に参加し、元気ですばらしい一年でありますようお祈り申し上げます。

会社幹部と社友会・紅葉会役員との懇談会

11月24日(金)の広島支部役員会に(通信シ)第2事業部 栃原事業部長、千田副参事をお招きして、支部役員との懇談会を開催、通信システム事業本部の現状、今後の課題などをお話し頂きました。主な内容は次の通り。

吉久支部長から社友会組織の説明と各役員との紹介後、栃原事業部長の会社の現状報告がありました。
(主な内容)

- ・ 事業本部全体の上期売上実績は1,534億円(前同比124.2%)と好調であり、下期も順調に推移している。
- ・ 国内向は第1事業部がNTTドコモ向、第2事業部がソフトバンク向を担当し、業績を引っ張っている。
- ・ 第3事業部は海外向で、業績的に課題を抱えている。
- ・ 国内大型店での6月から5ヶ月間の売上シェアがアップ、20%以上を連続。また、キャリアの全機種の新機種投入中、5機種をSHARPが占めた。
- ・ 第1事業部はドコモ903シリーズをナンバーポータビリティ(MNP)の日にトップを切って発売。売上もトップを走り受注も続いている。
- ・ 第2事業部のソフトバンク向も好調で、上期アクオス携帯薄型と705がダントツのシェアを有する。801シリーズも好調に推移している。

明日910SHと911SHの2機種が発売される。

- ・ 910は業界初の500万画素のカメラ機能つき、光学3倍ズーム、高精細液晶(VGA)、高輝度LDEフラッシュ、手振れ防止つき。デジカメ相当の高性能に。
- ・ 911ははソフトバンクの「かくし玉」的存在で、ワンセグTV付、バッテリー寿命5Hは液晶サイズが大きくなっても変わっていない。

この2機種はソフトバンクでも前評判が良く、高いシェアを確保する可能性がある。

課題として

- ・ 第4事業部AU向はラインアップの拡充。
- ・ 第2事業部はソフトバンクが(MNP)でダウンするか心配されたが、今後も孫社長の動きに注目が必要。現在は増量されている。
- ・ 第3事業部の海外向はどの様に対応するか。海外の携帯大手に対抗するコスト力、ブランド力、台数規模など。さらに販売ルートの構築、当社の技術力の高さをどうアピールするかなど。

以上、業績好調と言われる中にも、気を引締めなければならない現状をお話し頂きました。

最後に、支部長より社友会支部の行事を説明し閉会。



説明される栃原事業部長(左)と千田副参事

絵手紙同好会 丸山 紀夫さん

「第10回 筆の里ありがとうの

ちよっと大きな絵てがみ大賞」で奨励賞を受賞

丸山さんの作品は「娘へ 初めての孫をありがとう」と感謝の気持ちを表わしたもので、初応募、初入選の荣誉に輝きました。締め切りが迫り題材を探していた頃に、タイミング良く、初孫が誕生。



丸山 紀夫さん

その愛らしさに幸せを感じ、成長の楽しみや励みを与えてくれた孫と、娘に対する感謝の気持ちを描いています。

絵てがみ作品の募集は広島県熊野町の筆の里工房主催、今年で10回目を迎えます。

「ありがとう」をテーマに全国47都道府県から一万点を超える応募があり、1次、2次、最終の審査を

経て入選が決まり、作品は筆の里工房に展示されます。

人それぞれの「ありがとう」があり、観る人に感動を与えます。



丸山さんから。

「入賞、入選作品を見ると、共感や感動を呼ぶものが多く短い文章ながら文脈や行間に、にじむものがあり、訴えるものを強く感じた。訴えるもの、感動させるものが大きいほど上手いと思う。これらを今後とも勉強したいと思う」

あるこう会

楽しいウォーキングで健康Get! 忘年会ウォークは大賑わい!

今年、東リリーダを筆頭に同好会一同の協力で、第一五回から第一七五回まで21回の例会を無事にこなして来た。

その内、今年、5回もの山登り、頑張った参加頂いた方も可也ありませんが、数多くの山歩きのために、あるこう会ではなく、山登り会では、との声も聞かれるほどに厳しい年であったかと思いません。

しかし、思えば日々それほど身体に楽

をさせた生活をしている様に思えます。

さて、本年最後の定例忘年会ウォーキングは、あるこう会、平成あそび隊の合同で12月2日に実施、スポーツセンター梅田所長も特別参加いただきました。

お世話頂いた社友会・紅葉会の両リーダーの労に報いる様に、予想を遥かに超える過去最高、40名の参加をいただき、送迎バス内は大賑わいの内に会場「グリーンピアせとうち」に到着。

行事予定に沿ってウォーキング前のストレッチを開始。身体もやや解れてきた頃に予想もしていなかった雲行きが怪しくなり、何やら冷たい滴が少し激しく落ち始めた。

急遽、ストレッチを中止して、ホテル内に緊急避難、天候の回復を期待した。早くも温泉に入り寛ぐ人も居た。

暫らくして、雲の流れる方向を観ると、まだまだ黒い雲が続くのが見られ、残念なが目的のウォーキングは止む無く中止。次の予定の忘年会までの空いた時間を各自が思い思いに過ごす事にした。

待ち時間中は久し振りに逢われた方々との歓談が、ホテル内の彼方此方で、お互いの健康状態の話や近況の話で大盛り上がり延々と続いていた。

大宴会の予定時間一時間前ころから、天上の黒雲も少しづつ取り払われ、陽射しが出はじめた。脚がムズムズする人たちは寸暇を惜しんで屋外に飛び出し、

銘々にコースを選択、数人の方々はごどの国や水ヶ浦山ハイキングコースのウォーキングをする人もあった。

やっと始まった忘年宴会では、支部長挨拶・乾杯と続いて、暫し懇親の昼食会。宴会が最高潮に盛り上がった最中、あるこう会・平成あそび隊の各リーダーから来年度の年間活動計画の説明があった。

続いてスポーツセンター梅田所長より「健康Get」運動のPRも戴き、来年は更に互いに協力をして、活動の活性化を図る宣言をした。

各コースの個別計画は企画者より説明があり、来年度の更なる参加をPRして場が盛り上がった。

紅葉会の小松さんからは、あるこう会の集合写真を使った、平成19年度の「あるこう会カレンダー」を作って頂き、当日参加者全員にプレゼントされた。

最後にくじ引きで、リーダーからの银杏プレゼントなども有って、忘年宴会はいやが上にも盛り上がり、嬉しい楽しい状態の内に、来年の各位の健康と、多くの参加を祈念しつつ、西尾さんの中締めで行事は盛大の内に無事終了した。

午前中出来なかったウォーキングは、多くの方は心残りがあるのか、広い園内を思い思いに、夏に賑う海水浴場付近までの往復4*ほどのコースやこどもの国コース、海辺コースなどをウォーキングした。帰りの送迎バスは定刻出発。往きにもまして賑やかであった。

2007年度の定例会には、元気に、更に多くの方々の参加をお待ちします。

YH記

「やっぱり

広島牛は美味しかった」

平成あそび隊 松岡 良明

06年10月庄原市口和町の「モーモー祭」へ行った。「モーモー祭」とは一口で言えば、地域の特長を生かした地域活性化のイベントです。

一部をご紹介します。

*牛の丸焼きの表演

焼けた肉を削って販売している。

一パック千円、大勢の人が並んでいた。

*小学生と牛の綱引き

小学生は見えないが、牛との綱引き。小学生は20人でも、牛が勝った。

*焼肉を食べる

予約していた焼肉を食べる。広い場所でも多くの方が、焼肉を賞味した。一人前二千円の焼肉、柔らかくて美味しかった。

あるこう会との合同の行事は好天にめぐまれ、そして美味しい焼肉、本当に楽しい一日を過ごせました。



モーモー祭の飾り牛

写そう会

今年も皆で写真を楽しみながら
作品作りと写真技術力の向上を目指す



明けましておめでとございます。
今年も他人との競争に走るのではなく、皆で写真を楽しみながら、各々の会員が自らのペースで作品作りと写真技術力の向上を目指す会となる事を目標に頑張っております。
昨年10月は会員アドバイザー佐藤さんによる「夜間の長時間露出」をテーマに三原市竜王山で夜景コーチ撮影会を開催。
この季節は空気が澄んでクリアな写真が撮れる時期だけに大いに期待しました



(右) 三原竜王山での夜景撮影会にて
(上) 奥出雲オロチループ橋での紅葉撮影

が、当日の瀬戸内海は生憎、一面にガスが掛かった上に、夜露が全員のカメラを直撃し、レンズは終始曇りっぱなし。お蔭で瀬戸内夜景の趣のある写真が撮れませんでした。
11月は島根県境の秋の奥出雲オロチループ橋を訪ねて、スイッチバックで有名なトロッコ列車「奥出雲おろち号」の



12月度、作品講評会

雄姿をカメラに収めました。
紅葉と「おろち号」をセットに撮影を試みましたが、トロッコ列車の動きと背景の紅葉を絶妙に描くシャッターチャンスを抑える事は、なかなか至難の業です。
個別に三次・北広島島の雲海や三原筆山からの霧海を狙って足を運んでいます。が、なかなか気象条件とマッチせず、シャッターチャンスに恵まれていない様です。
12月の作品講評会では一年間を通じて個別に撮影した自信作を持ち寄り、作品の人気投票を行うと共に、一年間の同好会活動の反省と来年に向けた活動計画・会則改定案に対する意見交換を行いました。
又、昨年は数多くの会員が県内の写真コンテスト(県美展、市美展、県内写真コンテスト)に入賞し、会員の写真技術力の向上が目立った一年でした。

昨年の受賞者は以下の方々です。(敬称略)

入賞作品は、写そう会のホームページ「コンテスト入賞作品」で紹介していきますので、是非ご覧下さい。

◎広島県観光フォトコンテスト
入選 西尾紀美子

◎庄原フォトカーニバルコンテスト
入選 西尾 弘

◎柳井フォトコンテスト
佳作 西尾紀美子

◎広島県美術展
入選 谷水 毅

◎東広島市美術展
入選

今井省吾 車角裕規 佐藤武文、
谷水 毅 辻 重樹

◎臨空広域写真コンテスト
佳作 谷水 毅

◎「旅の思い出」写真コンテスト
グランプリ賞 吉岡嘉之

◎第8回酒まつりフォトコンテスト
入選 西尾 弘

現在、ラポール広島島の食堂を利用した写真ギャラリーコーナーでは、会員による季節の作品を随時、掲示しております。
寮生の皆さんからも大変好評を戴いています。

社友会室に向かかれた際は、少し足を延ばして是非、作品を鑑賞して下さい。
(谷水)

ゴルフ

3月最終戦での
「グラランドチャンピオン賞2006」は
誰の手に.....

第95回コンペは、例年10月はツアーコンペ36Hプレイですが、今年はお休みして通常の18Hプレイとして、秋晴れの絶好のゴルフ日和で行いました。

会場はお馴染みホームグランドの一つでもあり、来年3月の「グラランドチャンピオン賞2006」へのキップも残り6枚とあって各選手は入賞を狙った意気込みでのスタート前の練習風景が印象的でした。

結果は、5アンダーでの優勝で、表彰式での弁では「ようやくやくの優勝で.....」などあたたかも謙遜の様に伺えるが、過去3回の優勝経緯もあり4回目的計画的とも言える成果です。

このように優勝のための戦略として技量の他に日頃のHCを下げず実力の温存等、作戦的な楽しみ方も加わって来た

ようです。今月より福山地区より新会員、細田さんの加入もありました。

第96回コンペは、昨年12月での会場、約1年ぶりです。

クラブハウスに入れば内装レイアウトも改装し、一見ゴルフショップの様である。さぞコースの方も?.....天候は晴天、気温22℃とゴルフ日和である。

ところが、何とした事かアンダーパーが2名で、昨年の優勝者がブービーメーカーとの。晴天続きと気温の変化でのグリーンコンディションに追従できないのもアマチュアゴルフの一驚かも?

今月より、稲葉和雄さん、佃嘉忠さんの加入もありました。

第97回コンペは、暦の上での今年最終戦。今年6ヶ月振りの会場です。来年3

月今期最終戦で「グラランドチャンピオン賞2006」をも賭けての、エントリーキップも最後の2枚も懸かった戦いでした。天候は「午前中雨、午後から晴れ」の予報でしたが幸いにも雨もなくラッキーでした。

結果は、いつもながらの接戦で、一打の重要さが、後で思い知らされたプレイでした。その中で前回優勝から6年も掛かっの優勝で苦労の成果といえる。

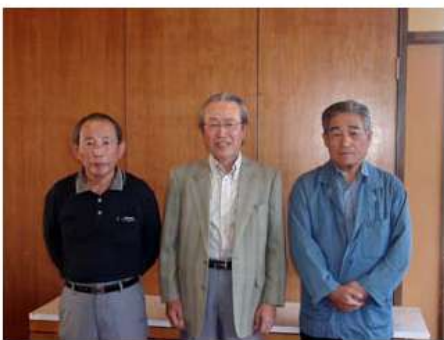
一方、今年2回目の出場で準優勝もあり、影での密かな努力でしょう、何が起るか解らないのもゴルフです。

今月より、新会員田井正治さんの加入もありました。これで例年3月まで自主トレ期間として各自の健康増進の為にメンテナンステクニックの向上の努め、その成果を楽しみにしています。

平成18年度第7戦～第9戦 の成績

(NET スコア)

第95回コンペ(18H) (10/16安芸C/C)			第96回コンペ(18H) (11/9広島国際G/C)			第97回コンペ(18H) (12/12瀬戸内G/R)		
順位	参加者	par	順位	参加者	par	順位	参加者	par
1	杉山	-5	1	伊野部	-2	1	出口	-5
2	山口(春)	-3	2	伊藤	-1	2	牛田	-2
3	山内	-1	3	嵐	+2	3	高見	0
4	小谷	-1	4	稲葉	+4	4	宮谷	0
5	出口	-1	5	井上	+4	5	猪飼	+2
6	宮谷	-1	6	佐々木	+4	6	勝山	+2
7	河上	-1	7	山内	+5	7	佐々木	+2
8	伊藤	0	8	中西	+5	8	山内	+3
9	森本	+1	9	原田	+6	9	伊藤	+3
10	堀	+1	10	猪飼	+6	10	小谷	+4
11	井谷	+1	11	杉山	+7	11	鈴木	+4
12	新宅	+2	12	松浦	+7	12	中西	+4
13	相馬	+3	13	岩垣	+7	13	原田	+4
14	鈴木	+4	14	山口(春)	+8	14	徳永(春)	+4
15	高見	+4	15	小谷	+8	15	堀	+4
16	山本(春)	+4	16	高見	+8	16	山本(春)	+5
17	岩垣	+4	17	黒田	+8	17	山口(春)	+6
18	山口(春)	+5	18	出口	+9	18	広瀬	+6
19	松本(春)	+6	19	広瀬	+10	19	吉田	+7
20	御船	+6	20	山本(春)	+10	20	車角	+7
21	松本(春)	+7	21	佃	+10	21	松本(春)	+8
22	伊野部	+7	22	鈴木	+11	22	奥村(春)	+8
23	中西	+8	23	堀	+11	23	田井	+9
24	清田	+8	24	井谷	+11	24	谷口	+9
25	原田	+8	25	山本(春)	+12	25	明石	+9
26	山田(春)	+8	26	徳永	+12	26	伊野部	+10
27	谷口	+8	27	奥村(春)	+12	27	岩垣	+10
28	嵐	+9	28	相馬	+12	28	吉久	+10
29	西尾	+9	29	山口(春)	+13	29	湯淺	+11
30	広瀬	+10	30	山田(春)	+13	30	松本(春)	+12
31	佐々木	+10	31	今村	+14	31	河上	+12
32	細田	+11	32	湯淺	+15	32	嵐	+13
33	湯淺	+11	33	西尾	+15	33	山口(春)	+14
34	車角	+11	34	奥村(春)	+15	34	杉山	+14
35	徳永	+13	35	津郷	+16	35	細田	+14
36	田村	+14	36	勝山	+17	36	佃	+15
37	津郷	+15	37	吉田	+20	37	山本(春)	+17
38	吉久	+17	38	明石	+20	38	御船	+17
39	吉田	+18	39	清田	+24	39	津郷	+22
	OUT/IN			OUT/IN			OUT/IN	
N	伊藤/山本(春)		N	奥村(春)/出口		N	宮谷/小谷	
	西尾/清田			小谷/西尾			杉山/伊野部	
	湯淺/山内			山本(春)/伊野部			原田/伊藤	
	山口(春)/山口(春)			鈴木/杉山			中西/湯淺	



写真左第95回コンペ 中央 優勝の杉山さん 左が2位 山口(春)さん 右は3位 山内さん
 写真中第96回コンペ 中央 優勝の伊野部さん 左が2位 嵐さん 右は3位 伊藤さん
 写真右第97回コンペ 中央 優勝の出口さん 左が2位 牛田さん 右は3位 高見さん

ボウリング

「10月大会(第32回)
喜田 栄禧さん優勝」

10月28日(土)第32回大会を恒例の賀茂ボールで25名(社友会16名、紅葉会3名、家族会員他6名)の参加で実施。多数参加者の競技で大いに盛り上がる結果を得た。

成績は日頃の実力者である「喜田栄禧さん」が678点(3ゲーム)の高得点で優勝された。

準優勝 社友会 荒木康弘さん665点
第三位 社友会 藤川智弘さん664点
今大会は四位までの方が600点以上のハイスコアで優秀な成績を勝ち取られた。又、今大会のハイスコア賞は牛田ご夫妻が手中に収められ、日頃の練習成果を披露された。

(男子の部) 牛田晴雄さん 214点。

グラウンド
ゴルフ

参加率ダントツ
水谷さん

早いもので今年も少なくなり、昨日は初雪がちらつく寒さで、いよいよ東広島の冬が来たかと現役当時の通勤を思い出させてくれました。

寒くなるとグラウンドゴルフの活動も鈍くなります。加えてこしはばらく新入会がありませんので、平均年齢も高くなり、いかに体調を維持するかが活動の成否を大きく左右します。

身体を動かして健康を維持することを目的としますが、先に身体が動かさなくなると、悪循環となり困ったものです。

そんな中で参加率トップは年間を通して安定している水谷さんです。

(女子の部) 牛田峰子さん 206点。
当同好会は06年度より、さらに体力、技術向上のため月例会、大会でのゲーム数を増やし、3ゲーム合計の競技としています。



月例会開催は毎週第3金曜・大会は年4回計画とし、頑張っております

彼は他に野菜の栽培をしたり、家庭では里親として幼児を育てるなど幅広く活躍されています。

お知らせ

冬季のグラウンドゴルフ同好会は、金曜日 午後二時から二時間、第三工場グラウンドでプレーしています。

関心のある方は、活動日が広島支部ホームページのカレンダーに掲載されていますので、確認いただき、体験プレーへのご来場をお待ちしております。新しい年はメンバーの増強を熱望します。

記 河上



プレイ中の水谷さん

ダンススポーツ

「交流ダンスパーティー開催」

当ダンススポーツ同好会は、発足から既に3年を経過しており、発足当初から活動されている方達は練習だけでは物足りない状況から、前回の「ひびき」10月号に掲載しました様に、今年の夏以降、一般のダンスパーティーにも対応できるように、他所のダンスグループとの交流を試みて来ました。

今年12月の恒例ダンスパーティーは、他所のグループとの合同パーティーを計画して参りましたが、幸い瀬野福祉センターの「ワンステップ・ダンスサークル」との合同パーティーが出来る事と成り、相手方のご協力で場所、時間も決定して頂き、瀬野福祉センター三階大ホールで去る12月16日の午後1時から5時まで盛大に実施することが出来ました。

今回は、食事付を止めて、軽い飲食をしながらのダンス

主体のパーティーとし、途切れることなく皆でダンスを楽しみました。

相手のグループは、ベテランばかりのダンスグループなのでレベルが合うのか心配が有りましたが、相手の男性のリードが上手なので、初めてのステップも相手からやさしく教えて頂く場面もあり、問題なく楽しむことが出来ました。

恒例の私たちの発表会も時間を取って頂き、応援拍手まで戴いて全員で四種目を披露しました。その後、双方の先生による模範演技もご披露頂き、双方ともに有意義な時間を過ごしました。

相手のダンスサークルも、パーティー形式で盛り上がるのは久しぶりで刺激になってとても良かった、との評価を頂き来年も、お互い交流を持つ事を約束して4時間もアットという間に終わってしまいました。

同好会では今、新しい女性の入会が有り、初歩からスタートしています、読者の皆さんも始めてみては如何ですか。



釣 り

昨年の釣行を
振り返ってみると

釣り納めを予定していました12月26日はあいにくの天候で、中止になりました。11月、12月と2ヶ月出舟できずイライラです。自然には勝てません。来年の大漁を楽しみに今年の釣りは終わりました。今月は、今年の釣りを振りかえってみたいと思います。

4月2回、5月2回、6月2回、8月1回、9月1回、10月1回で4ヶ月で9回の釣りを楽しみましたが大漁だったのは3回でした。

4月のメバルは近くの大芝島でした。6本針仕掛けに4匹、5匹、時には6匹と釣れました。しかもいいサイズで25センチの型そろいでした。

一人40匹は釣れました。

次は5月のアジです。春になるとアジが愛媛の佐田岬から山口の大島近くへ、産卵の為に入ってきます。型も40センチが混じりますし、卵を持っていきますので食べても美味しく、刺身は絶品です。

今年はずいぶりに大型が釣れました。アジは口の肉が柔らかいので途中でよくバラシますが、いい型だと、大丈夫です。船頭さんがタモで掬ってくれます。今年(2007年)も是非釣りたいと思います。

そして10月の「いいだこ」です。私も長い間釣りをしていますが「いいだこ」釣りは始めてでした。しかも釣り場

が私の田舎であります多度津沖なので感動しました。「いいだこ」はご存知のように、小さくて美味しかったです。12月になると卵を持つので特に美味しいのですが、その時期になると、プロの船頭が採るのでなかなか釣れないそうです。そんな訳で10月釣行にしました。

4月の大芝島のメバル
大漁で笑顔がこぼれる



釣りかたも簡単で、仕掛けを海底に着けて引くだけです。おもしろいように釣れました。皆さんも一度経験をされたらと思います。釣りとはバクチであると言います。特に青物(ハマチ、アジ、サバ)は本当に分かります。

囲碁将棋

やはり
有段者は強かった



江川さん(左)と対局する
山口 春香さん

昨日大漁だったのに、今日はボウズの時があります。その反対も勿論あります。だから釣りは面白いのです。今年も釣りで大いに楽しませよう。

報告者 川田 正勝

さて今回の主人公は江川さんです。江川さんは普段は横浜にお住まいですが例年数週間という短い期間、西条にあるセカンドハウスの手入れと、旧友との交流を楽しみに来広される機会に、囲碁同好会に顔を出してくれます。

メンバーの中では、杉山さんと同じ様に有段者ですから、私が勝てる相手ではないのです。

今年10月の例会で対局が実現。久しぶりの再会でしたので、序盤はここ数ヶ月の出来事や、現役当時の昔話に花を咲かせながらの楽しい対局。

その間の戦局は私も今日はいけそうだし！と思ったのですが終ってみるとやっぱり連敗・・・。

腕が違うのだなうと思いき知らされた対局とはなりましたが、懐かしくも楽しいひと時でした。

皆さん気軽に語りながら囲碁、将棋を楽しみましょう。

毎月第一月曜日、十時半、社友会にて例会を行っていますので、どうぞ覗いてください。

里見 誠次郎登場で 大いに盛り上がった 秋の親睦旅行

今年の秋季親睦旅行は「嬉野温泉と柳川舟下り&九州国立博物館」をテーマに11月15、16日、合計42名(男21名女21名)の参加者で行われました

柳川舟下り

柳川は北原白秋の生誕地、2艘の「どんこ舟」に分乗、菅笠に法被姿の船頭さんの操る水棹に、水郷の情緒を感じる。

柳川の上や兩岸で小学生たちが写生していた。「こんにちは」、「どこから来ま



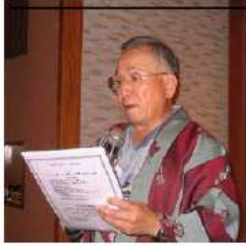
入社3日目の船頭さん
実は大ベテランでした。

した?」と次々気軽に声をかけてくる。こちらからも「こんにちは」、「ひろしまから」とか応答していたが、中に「何を食えました?」という思いがけない問いに「え〜!」と、一同絶句。通り過ぎてから、先ほどの少年は「うなぎを食べた」という回答を期待していたのではないかと思った。この川岸に大きな「うなぎの供養塔」があり、うなぎが有名な所である事を船頭さんが説明してくれた。

柳川から嬉野温泉へバスは直行するが、見渡す限り平野が広がり山は遙か彼方、佐賀は農業王国と言われるだけある。山また山の広島とは景色が全く異なる。

嬉野温泉は、女が喜ぶと書く様にお肌つるつる、すべすべになる様です。ただし、朝起きて目がパッチリ、鼻が高いの効能はありません。とガイドさん。

宴会 細井幹事の司会で開会
吉久支部長のご挨拶、乾杯と続く。
発声は恒例により新入会員が。今回は田井正治さんをお願い。



続いて、山口地区から参加の秋山幸二さんの近況報告、しばらく飲食歓談。

第1部 カラオケ大会
トップバッターはY旅行の添乗員 梶原さんの「島人ぬ宝」。若くて、良気がついて、積極的で良いね。との声も聞こえました。

後は社友会、紅葉会のそれなりのメンバーが続く、なぜかデューエント曲はなかった。



ピンゴゲーム
今回よりゲーム機は、社友会自前のものを準備。賞品かかっているだけに、楽しみながらも真剣でした。

観劇 里見 誠次郎一座
と言っても一人、脚本：美術：メイク：すべて担当。出し物は「暎の母」。番場の忠太郎が幼いころ別れた母を捜しに、嬉野まで来たところから始まる・・・

その熱演は客席の感動と笑いと涙を誘う。観客がとび入りで熱演する場面もあり、舞台と客席が一体となった楽しい、

ひと時でした。「おひねり」も声援と共に、次々飛んでいました。

吉野ヶ里歴史公園で弥生時代の日本最大級の環濠集落遺跡を見学。その規模の大きさに驚く。いまでも発掘が続いていた。「卑弥呼伝説」を思い浮かべられた方もおられた?

九州国立博物館へ太宰府天満宮から徒歩で行けるが、坂を上り、階段を上り、超ロング・エスカレーター2基乗り継ぎ、動く歩道もある。展示会場までの移動だけでも驚かされる。

今回の旅行は幹事さんの気遣いと紅葉会ははじめ、皆さんのご協力で盛り上がり、十分楽しまれたかと思えます。



「志和の里」から「里」を貰い
里見 誠次郎 こと
原 誠吾さん (支部会員)



感謝の拍手が贈られました。
企画担当幹事3人と
原さん、添乗員さん

地区委員報告

社友会 企画担当 山根 行雄
地区委員担当幹事

昨年、総会より、お世話を担当し、7月に、地区制度の発足し、早くも、一年半がたちました。

11月末現在、地区会員数、広島地区37名(広島 30名 福山7名)、山口地区6名、山陰地区7名、岡山地区7名、四国地区8名、合わせて65名(広島支部、社友



第3回 広島ゆうゆう会

会員数二三三名中 28%と昨年、発足時44名から、一年間足らずの間で21名の会員と大幅に増員となりました。

これに、あわせて、4月に、山陰地区会、10月に山口地区特会(山口シャープOB会)開催と、地元地区委員さまのご尽力で、社友会員を中心にして、親睦情報交歓会が開催され、社友の輪が、着実に築かれ、他の地区へと連携促進いたしています。

これも、偏に、社友の方々の深いご理解があればこそ、感謝申し上げます。

一昨年、「広島シャープビル」に、長年ご勤務されました営業関係・サービス関係のOBの方々のご努力により、広島「ゆうゆう会」の懇親の集いが開催され、本年「第3回の集い」が12月9日(土)、ホテル JALシティ広島に49名参加して開催されました。

当会は創会以来3年経過し、会運営定着した段階にあり、榎原代表ほかの世話役から、広島支部の吉久支部長(出席のご招聘)があり、支部長よりご来賓祝辞を頂きました。

御陰様で、ご参加者の方々に支部長を知って頂くよい機会になりました。

また、ご挨拶の中で、社友会、広島支部の

地区委員報告

山陰地区委員 山澤 純一

昨年は春4月に、念願の第一回山陰地区会(出席者6名を、広島支部の山根幹事さんに出席頂いて開催することが出来ました。

情報交換の場で、片桐さん、前田さんに長寿の秘訣を伝授いただき、大変有意義な時間をもつことができました。

又、過去、松江、出雲、浜田、米子、鳥取と旧拠点単位にて行われていたOB会も、米子地区OBの方に、尽力頂いて、第一回山陰地



広島ゆうゆう会で挨拶する 吉久支部長

組織や活動状況(年賀会、総会、春秋の親睦旅行、同好会&地区行事参加、会報「ひびき」発行、HP開設&情報流通 等々)。

更に、他の支部に先駆け、地方在籍の会員様の健康連絡・親睦促進の為、4地区へ地区委員を設置、会員相互の親睦・情報流通の拡大に努力しております。

会員の勧誘について、中途退職の方や、既に退職された方で、社友会に未加入の方々、或いは、間もなく、定年退職予定の方々、何方でも、随意に、(榎原さん、山根担当)ご参加申し出ください。

併せて、二〇〇七年の新春年賀会は、初めて、本部と各支部とを結び、TV中継で実施される運びになりました件など報告もあり、社友会と、「ゆうゆう会」の今後の連携

区シャープ関係会社OB懇親会が、11月4日に「紅葉の大山」で、30名参加のもと開催されました。

(尚、第二回山陰OB会は、2年後の平成20年に鳥取にて開催することが決定しております)

今年、春に第2回目の山陰地区会懇親会を開催予定です。互いに健康であること喜び、親睦を深めたいと思えます。

私個人としては、退職後始めた週一回の水墨画教室、中国語会話教室参加に加えて、中学生のころ興味を覚えた、漢詩作り(起承転結、漢字28個の表現)にチャレンジしてみたいと思っています。

にも、大いに、弾みがつきました。

遠方から参加の方2名、初参加の方3名の自己紹介、参加者全員、和気藹々、会食しながら、旧交を暖めるました。

余興の部で、社友会・ダンス・スポーツ同好会の男子3名と女性リーダーのダンス教室仲間3名による、社交ダンスや総会でお馴染みの俵さんのマジックなどを楽しむ中、参加の皆さんの再会と今後のご健康と益々のご発展を祈念して、SERK牛島さんのご発声で、一本締めにて閉会となりました。

今後とも、他地区の会員相互の親睦交流が益々、強まる様、地区委員の皆様と、連携を計りながら、一步一步、粘り強く前進いたしたく存じます。

岡山シャープOB会開催

岡山地区委員 池田 征三郎

12月20日(木)岡山市内「りょうてい」にて開催されました。

今回は世話役三人と難波さんの呼びかけもあり、初参加の10名を加えて予想外の18名の方々が参加。過去の思い出や現況など、過去のしがらみもなく、和気藹々語りあつて旧交を温め、親交を深め、会はビンゴゲームで大いに盛り上がり、盛況に06クリスマス忘年会となりました。

次回は、更に、メンバーの輪を広げようと誓い合いました。

また、年明けの1月4日、岡山国際ゴルフ倶楽部にて、二〇〇七年のOBコンペを行い猪年のスタートを占めます。

役員会だより

代表幹事 相馬 實

対象期間: 2006年10月～11月

* 秋季親睦旅行の審議と実施

今年の親睦旅行は審議の結果、嬉野温泉宿泊をベースに柳川船下り、吉野ヶ里遺跡、太宰府天満宮、九州国立博物館と盛り沢山の内容で決定し、11/15(水)～11/16(木)に実施しました。

今回は山口地区の会員が山陽道の途中のSAから参加されました。

このように始発よりの乗車だけでなく途中乗車での参加も可能ですので、今後東広島周辺地区の会員だけでなく、各地の会員の参加をお待ちしております。

* 地区懇親会の開催

4月の山陰地区に加え、10月には山口地区、12月には広島地区でも懇親会が開催されました。今後岡山地区、四国地区でも開催を予定しておりますので、対象地区の会員はこぞって参加いただきますようお願いいたします。

* 会社幹部との懇談会開催

11月24日役員会開催日に第2事業部 栃原事業部長、総務部 千田副参事をお招きし、恒例の会社幹部との懇談会を開催しました。

- ・ 栃原事業部長より現状につき説明して頂いた。通信事業本部全体(パーソナル第1～第4事業部、IP通信事業部)は上期に続き下期も好調に推移しており、10～12月も計画を上回る見込みになっている。新製品の500万画素カメラ付きやワンセグTV対応携帯電話のサンプルをお持ち頂き、実演・説明頂いた。

- ・ 社友会側よりは社友会組織、担当地区、役員紹介、行事、同好会活動等につき説明した。

なお、今年より1月の年賀会の前半は本部よりTV中継が行われるので、会社側の全面協力が必要なため後日総務部と社友会で具体的事項の詰めを行うこととした。

* 新年年賀会実施要綱の審議

今回は本部のTV中継とう初めての内容を盛り込むため慎重な計画が必要であり、社友会としての対応内容や会社に要請する内容等につき審議した。この内容を基に会社と打ち合わせを行い、遺漏なきよう対応を進めてゆきます。なお出席者にはアンケートを予定していますのでご協力願います。

* 調査事項の回答確認

年賀会出欠および日直当番受諾調査(対象会員のみに)を12月末締めで行ってきましたが、皆様回答はお済ですか?

今一度確認頂き、未だの方は今すぐに社友会室に連絡願います。

* 会員数(11/20現在) 3,246名

本部	2,198名
栃木	256名
東京	474名
広島	232名
九州	86名

今井 省吾さん 第19回東広島市美術展

「写真」の部入選 工芸の部「優秀賞」のダブル受賞



今回受賞の作品名は「アクアプラネット」
生命を育んでいる海を表し、それが次第に水の惑星(アクアプラネット)に変わっていく様子を表現している。そうです。

審査の評: 優秀賞の「アクアプラネット」のガラス作品は近代的感覚にあふれており、審査員一同の賛成のもと決まった。(パンフレットより)

今井さんは工業デザイナーであり、趣味も油絵、写真、ガラスアートなど幅広く造詣も深い。退職後も更に精力的に作品の製作を行っています。

いずれも芸術性の高い作品で、作品展への応募のほか、個展なども開かれています。市美術展は3回受賞すると、以後応募が出来ない決まりがあるようで、すでに「写真部門で奨励賞」を2回、今回の「工芸部門・優秀賞」で計3回になります。これからは「無監査作家」として、より「質の高い作品展」に出展できる資格が得られるとの事です。



優秀賞受賞作品
「アクアプラネット」

社友短信

□西尾 弘さん
 12月10日ホノルルマラソンを走ってきました。今年3回目の参加で、昨年より約2時間短縮して6時間16分02秒でゴールする事が出来ました。
 1月からスポーツクラブのランニングマシンで、徐々にランニングの練習を始め、10月から路上で10キロの練習をした成果と喜んでます。
 早朝5時のスタートから6時間走り続けて、ゴールした瞬間の感激は最高でした。今年も元気には走る事が出来た健康に感謝！感謝！
 妻も一緒に走り完走しました。

新会員のご紹介

平成18年10月1日～12月末日まで入会

- ひろのべ きぬよ
 平延 絹代さん No.3625 EL事業推進センター
- のむら かつり
 野村 勝則さん No.3626 (通信シ) IT推進室
- いなば かずお
 稲葉 和雄さん No.3627 (通信シ) 総務部
- かたやま けんぞう
 片山 賢三さん No.3632 (通信シ) 資材部
- よねざわ ひとし
 米澤 齊さん No.3633 (電子) 高周波デバイス(事)品質保証G
- ごうや たかお
 合屋 隆夫さん No.3651 (通信シ) 事業戦略推進室
- しおやす きよし
 塩安 清さん No.3662 国内情報通信営業本部中国営業部
- つくだ よしただ
 佃 嘉忠さん No.3665 近畿統轄本部特販部
- おかだ よしまさ
 岡田 吉正さん No.3679 AVシステム(事本)DVDシステム開発チーム
- おきた けんぞう
 沖田 憲三さん No.3681 (通信シ)資材部

12月末現在 広島支部会員数 235名



完走記録証に記録を添えて交付される

07年も4回目の参加が出来た様、健康に注意して、新春から練習を始めたかと思っております。
 ホノルルマラソンの魅力
 ・完走時間の制限時間が無く、遅いランナーでも最後まで走れる。
 ・公認記録の完走証が貰える。
 ・関係スタッフの多くが日本語で話せる。



・レースの前後ハワイで楽しめる。
 なお、大会の様子はホノルルマラソン協会日本事務局のホームページで見られます。

<http://www.honolulumarathon.jp/>

広島支部行事予定 1月～2月

- 1/23(火) 新春年賀会/定例役員会
- 1/31(水) ホームページ更新
- 2/23(金) 定例役員会
- 2/28(水) ホームページ更新

編集後記

この号では新年にふさわしい・おめだたい記事を載せることが出来ました。
 丸山さんの絵手紙の奨励賞、今井省吾さんの市美展・工芸部門優秀賞、更に、写真関係での入賞者も多く、皆さんそれぞれ技術を高めて趣味の域を超えた、素晴らしい作品づくりに努めておられる様です。

趣味以外でも、忙しい中を時間を割いてボランティア活動や、健康体力作りに努めておられる方も多いと思います。

吉久清春さんの「健康寿命を長くしよう」の提案もご参考に。

残りの人生を楽しく、有意義に過ごしたいものです。

(S)